

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・マックス グラスプ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.464	△RG 0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ナノデス・マックス グラスプ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

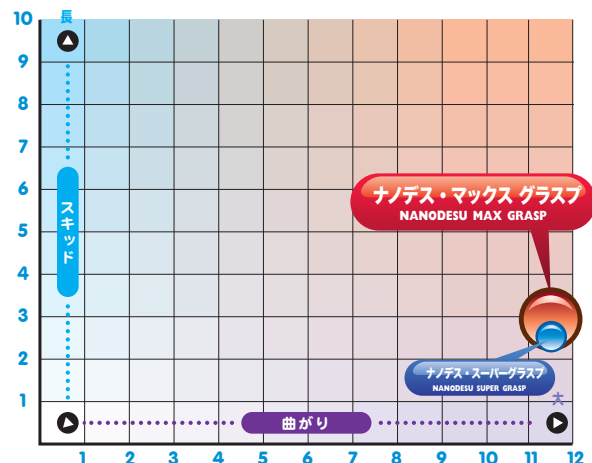
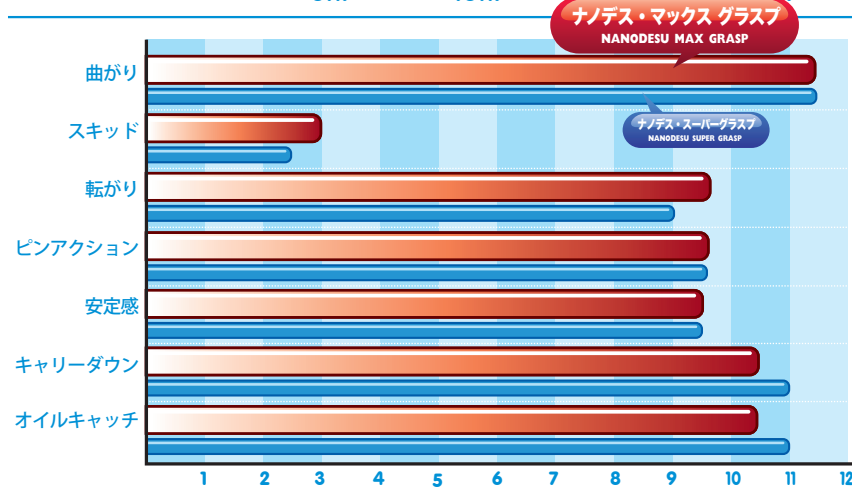
比較対照ボール：ナノデス・スーパーグラスプ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

ABSブランドでヘビーオイル対応の領域を担うのはナノデスグラスプで、ナノデスシリーズの中でもしっかり差別化されており、私たちABSボール開発チーム拘りのブランドでもあります。

今回のMAX GRASPは、GRASPの象徴でもあるBIG Drum Coreを改良して、比重を最大限まで上げ、SUPER GRASPまではRG 2.50、△RG 0.045、Intdiff 0.014だったところ、RG 2.46、△RG 0.056、Intdiff 0.017まで引き上げています。その動力を支えるのがUG Nano-Thane 4.5 Solidカバーストックで、コアの数値とカバーストックの強さを調整して、しっかりと曲がるイメージを感じていただくために現段階で最高峰の強さに仕上げました。

ただ単にコアの数値を上げただけではなく、“MAX GRASP”と名乗るためにはコアとカバーストックの素材、表面仕上げまで細かい調整が必要になります。幾度となるサンプルから生み出されたMAX GRASPは、国産ならではの匠製法もさることながら、妥協とは無縁で、だからこそ今のナノデスシリーズがあると言えるでしょう。

数値を変更した分の転がりの良さは手から放たれた瞬間から始まり、レーンの中盤からしっかりとブレーキがかかりながらピンヒットまで垂れることなく強くしなやかに曲がり続けます。ヘビーオイル用として申し分ないぐらい曲がり始めがはやく、キャリーダウンしたコンディションにも無類の強さを発揮してくれます。これぐらいのスペックだと通常のコンディションで使用するというよりは、いざという時のスペシャルな位置づけで持つボールとしても良いですし、スポーツコンディションでの使用や回転よりもスピードが優位なボウラーには特別な感覚で使用できるのではないかと思います。

特記事項

MAX GRASPと名付けられるだけのパフォーマンスはキッチリと感じます。普段使いというよりは、オイルが多いと感じるコンディションでご使用ください。